

# 令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

(様式3)

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	08-12	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係(内) 29-323

## I 基本事項 (基準日時点)

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)				
地区名	ふりがな 頓別川	市町村名	浜頓別町・中頓別町	総事業費	28,768 百万円
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村
		15,822 百万円		12,946 百万円	その他

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 頓別川は、オホーツク海に注ぐ二級河川で、S26年(1951年)より河川改修事業に着手。</li> <li>● その後S37年(1962年)8月、S45年(1970年)10月の洪水により、頓別川上流地区などにおいて家屋浸水など多大な被害が発生したため、S49年(1974年)より頓別川の計画区間を延伸するとともに、支川クッチャロ川などの改修に着手。</li> <li>● また、H9年(1997年)8月の洪水により、中頓別町小頓別地区において浸水被害が発生したため、H12年(2000年)に頓別川小頓別地区の改修に着手。</li> <li>● 堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、浜頓別町栄和地区、中頓別町中頓別地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。</li> </ul>				
	【アウトカム】 等 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 429戸→0戸</li> <li>● 改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 1,780ha→0ha</li> </ul>				

事業概要	頓別川は、河口から27.4kmの区間及び河口より上流53.6km地点から1.0kmの区間、支川クッチャロ川は頓別川合流点の2.3kmの区間、その他の4支川を含む合計38.2kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量 Q=1,400m <sup>3</sup> /s (支川クッチャロ川Q=130m <sup>3</sup> /s)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画延長 L=38,210m	前回評価	今回評価	増減額
			築堤工 L=38,300m	4,615	4,817	202
			掘削工 L=38,210m	10,448	12,199	1,751
			護岸工 L=19,900m	5,052	5,164	112
			附帯工事 道路橋14橋等	2,586	2,963	377
			測量設計費 調査・設計	2,786	3,158	372
			用地補償費 用地買収・物件補償	467	467	0
			計	25,954	28,768	2,814

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進(強靱化)

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 (河川改修等の治水対策) 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。
	関連する指標	-

## II 公共事業評価経過

(単位：百万円)

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)					
							19,095	8,593								
事前評価又は当初	S26 (1951)	S26 (1951)		H30 (2018)	72		28,768	12,946	690	24,576	85%					
前回再評価	S26 (1951)	S26 (1951)	H30 (2018)	H44 (2032)								25,954	11,679		21,955	85%
今回評価			R5 (2023)	R17 (2035)												

変更理由・内容(概要)	(1) 橋梁施工に伴う観測調査の増額 (2) 仮締切工法の変更に伴う設計費、施工費の増額 (3) 土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額 (4) 水路調査による排水工・樋門工の基数増による増額 (5) 環境調査(鳥類)追加による増額 (6) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 (7) 残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸
-------------	---

## III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S37年(1962年) 8月 浸水被害が発生(浸水面積1,650ha、浸水家屋20戸) ※頓別川</li> <li>● S45年(1970年) 10月 浸水被害が発生(浸水面積1,979ha、浸水家屋85戸) ※頓別川</li> <li>● S47年(1972年) 9月 浸水被害が発生(浸水面積169ha、浸水家屋7戸) ※ウソタンナイ川、クッチャロ川</li> <li>● S50年(1975年) 9月 浸水被害が発生(浸水面積541ha、浸水家屋70戸) ※頓別川、エポト川</li> <li>● S56年(1981年) 8月 浸水被害が発生(浸水面積584ha、浸水家屋11戸) ※頓別川、エポト川、ウソタンナイ川 兵知安川</li> <li>● H 9年(1997年) 8月 浸水被害が発生(浸水面積0.1ha) ※頓別川</li> </ul>
2. 事業検討の経緯(住民ニーズの把握等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S26年(1951年) 頓別川の改修事業に着手</li> <li>● S49年(1974年) 頓別川の計画区間を延伸</li> <li>● クッチャロ川、エポト川、平賀内川、ウソタンナイ川、兵知安川の改修事業に着手</li> <li>● H 9年(1997年) 頓別川小頓別地区について浜頓別町、中頓別町より道に河川改修の要望</li> <li>● H12年(2000年) 4月 頓別川小頓別地区の改修事業に着手</li> </ul>
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浜頓別町栄和地区、中頓別町中頓別地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積3,095ha(うち農地1,780ha)、浸水防止家屋429戸</li> </ul>

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画																	
	施工(工種)区分	工事内容	S26	~	H25	~	28	~	30	R1	~	R6	~	17	進捗状況	事業費(百万円)		
	築堤工	L=38,300m													L=3,600m	76%	4,817	
	掘削工	L=38,210m													L=7,100m	77%	12,199	
	護岸工	L=19,900m													L=6,000m	85%	5,164	
	附帯工事	道路橋14橋等													道路橋12橋等	91%	2,963	
	測量設計費	調査・設計														94%	3,158	
用地補償費	用地買収・物件補償														90%	467		
(2) 進捗状況																		
エボト川、クッチャロ川、平賀内川の整備が完了しており、現在は頓別川、ウソタンナイ川、兵知安川の整備を促進している。今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。																		
<table border="1"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>b</b></td> <td>a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</td> </tr> </table>																	<b>b</b>	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。
<b>b</b>	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。																	

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R5現在	項目	R5現在	
	洪水被害防止効果	996,966	建設費	136,908	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)に基づき算出 ●効果及び費用は、R5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
			維持管理費	189	
	合計(B)	996,966	合計(C)	137,097	
B/C	前回再評価年度 : H30年度(2018年度)【再評価】 前回再評価時B/C : 1.34(合計(B)125,476 (C)93,520) 変更理由 :				
R5現在	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことによる ・完了予定年度の延伸に伴う効果及び維持管理費の増加 ・治水経済調査マニュアル(案)の改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加				
7.27					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用	38
	施工の最適化	掘削残土を近隣の農地嵩上げに利用し、残土処理に係る運搬経費を削減	148
	施工の最適化	現地採取の表土を高水式の覆土に利用	158

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、浜頓別町栄和地区、中頓別町中頓別地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後もH12年(2000年)10月(家屋44戸)に浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>				
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。			
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床や現況河岸を極力保全している。</li> <li>● 河畔林を極力保全している。</li> <li>● 植生の早期回復を図るため、高水敷に現地採取の表土による覆土を実施している。</li> <li>● 河畔林の保全等について、地元住民や関係機関と説明会を開催し、調整を図りながら事業を進めている。</li> </ul> ※ 直近の評価以降の状況変化はない。				
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向				
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浜頓別町、中頓別町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。</li> <li>● 中頓別町から、オジロワシやカワシジユガイの生息環境に配慮し、現況低水路や河畔林保全等の要望が出されている。</li> </ul> ※ 直近の評価以降の状況変化はない。					
3. 事業達成の見込み	(3) その他の課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※ 直近の評価以降の状況変化はない。				
事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。					
<b>a</b>	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和17年度の完成を目指し、事業継続する。				
	<b>a</b>	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止			
事業期間変更の有無		有	事業内容変更の有無		無
				総事業費変更の有無	有

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：1.34
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

## 補足資料

### VII 事業計画変更

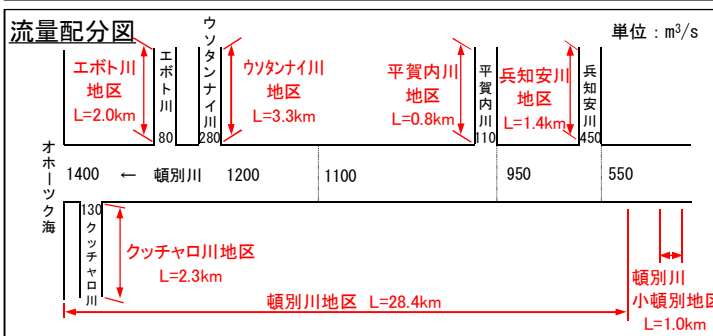
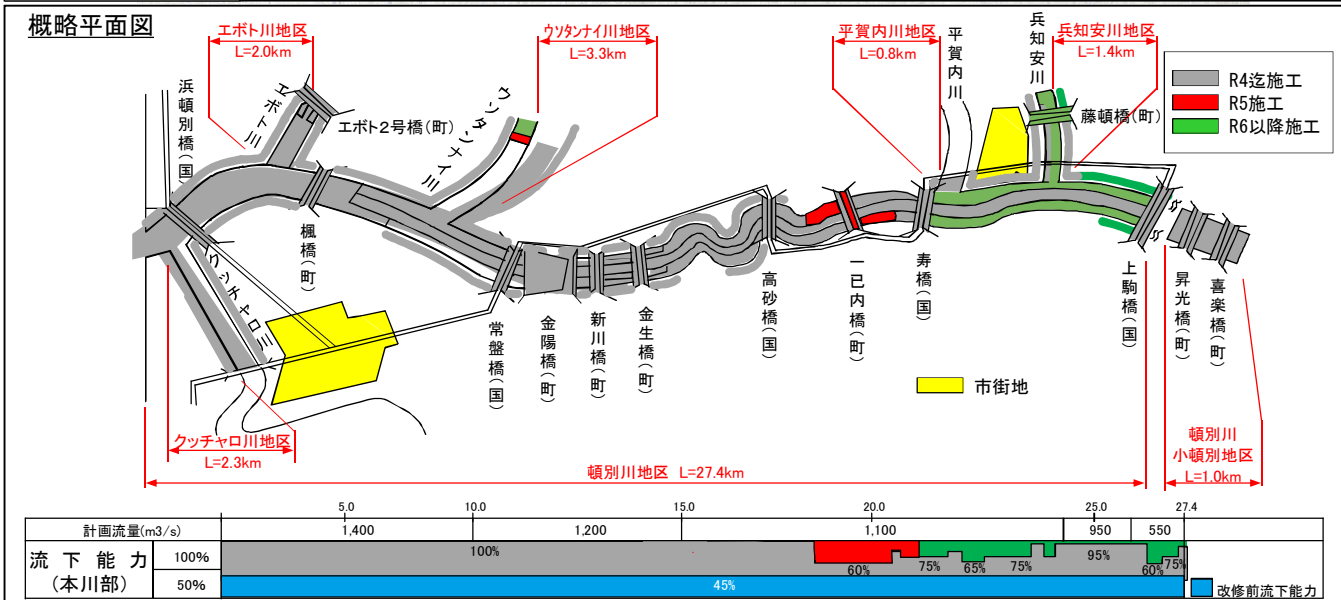
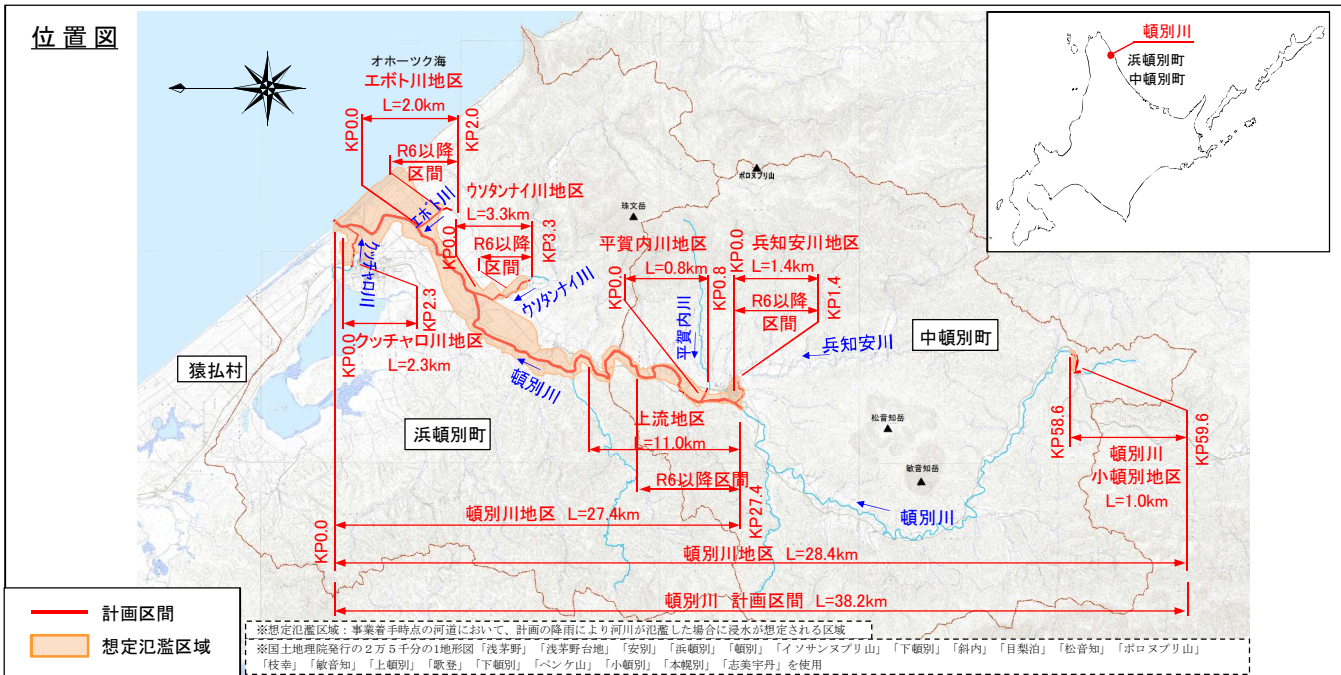
(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S26 (1951)	S26 (1951)			H30 (2018)	72	19,095			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H26 (2014)		24,536			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)	H30 (2018)		24,536			
変更③	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H39 (2027)		24,536			
変更④					H28 (2016)	H39 (2027)		25,233			
変更⑤	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H44 (2032)		25,954			
変更⑥					R3 (2021)	R14 (2032)		26,374			
変更⑦	5回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R17 (2035)		28,768	690	24,576	85%
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											

#### 変更理由・内容

変更①：事業費の増 ～ 河岸侵食箇所の護岸工等の増による。  
事業期間の変更～ 残事業の施工期間を精査したことによる。  
変更②：事業期間の延伸～ 河畔林の保全等について、地域住民や関係機関との調整に時間を要したため。  
変更③：事業期間の延伸～ オジロワシやカワシンジュガイなどの環境調査や河道計画の検討に時間を要したほか、残事業の施工期間を精査したことによる。  
変更④：事業費の増 ～ 危機管理型ハード対策としての堤防天端舗装を追加したことによる。  
変更⑤：事業費の増 ～ 資材、労務単価の上昇などによる。  
事業期間の延伸～ 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。  
変更⑥：事業費の増 ～ 橋梁施工に伴う観測調査の増額  
：事業費の増 ～ 仮締切工法の変更に伴う設計費、施工費の増額  
変更⑦：事業費の増 ～ 土砂運搬箇所の変更に伴う残土運搬距離の増による増額  
：事業費の増 ～ 水路調査による排水工・樋門工の基数増による増額  
：事業費の増 ～ 環境調査(鳥類)追加による増額  
：事業費の増 ～ 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額  
：事業期間の延伸～ 残事業区間の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	とんべつがわ 頓別川	採択年度	S26 (1951)
-----	--	-----	---------------	------	---------------



### 計画諸元

河川名	頓別川	クツチャロ川	エボト川	ウツナイ川	平賀内川	兵知安川
流域面積(km <sup>2</sup> )	779.1	170.9	16.8	68.1	17.4	139.6
計画延長(km)	28.4	2.3	2.0	3.4	0.8	1.4
氾濫面積(ha)	3,095					
計画雨量	37.0mm/hr					
計画高水流量(m <sup>3</sup> /s)	1400	130	80	280	110	450
計画勾配	1/3000 ~1/100	1/2150	1/2000	1/336 ~1/290	1/300	1/298

